

ハートフルなんぶ

2010. 7月号 Vol.141

長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292 - 0143

FAX (026) 292 - 0559

<http://library.nagano-ngn.ed.jp/>

夏休み学習室開放のお知らせ

夏休み期間中は平日も2階大会議室を学習室としてご利用できます。



期間：7月24日（土）～8月22日（日）まで
時間：午前10時～午後5時30分

※行事・会議などで利用できない時がありますので、ご了承ください。

期間限定で開館時間を延長します

7月8日（木）～8月9日（月）まで
の開館日で、平日は開館時間を延長して、
夜7時まで開館いたします。
どうぞご利用ください。



お知らせ

図書館の周りのお花のお世話をしてくれるボランティアを募集します。
お花好きな人ぜひお願いします。
ご希望の方は、カウンターまでお問い合わせ下さい。

新刊案内

『電子書籍元年』	田代真人／著	インプレスジャパン	《023タ》
『樋口可南子の古寺散歩』		小学館	《185ヒ》
『官僚のレトリック』	原 英史／著	新潮社	《317ハ》
『ポテチを異常に食べる人たち』	幕内秀夫／著	WAVE出版	《498マ》
『いつでも着たい服』	山田ルリ子／著	文化学園文化出版局	《593ヤ》
『にんにく×とうがらし×ケンタロウ』	ケンタロウ／著	世界文化社	《596ケ》
『多肉植物の寄せ植え』	松山美紗／著	日東書院本社	《627マ》
『国歌斉唱』	新保信長／著	河出書房新社	《767シ》
『禁断』	今野 敏／著	徳間書店	《Fコ》
『僕らの青春』	半村 良／著	河出書房新社	《Fハ》
『雨心中』	唯川 恵／著	講談社	《Fユ》
『世間はやかん』	立川談志／著	春秋社	《914.6タ》



今月のテーマ「怪」

- 『妖怪草紙』 荒俣 宏／対談 小松和彦／対談 工作舎 <<388ア>>
 『稻生物怪録絵巻集成』 杉本好伸／編 国書刊行会 <<388イ>>
 『日本の妖怪の謎と不思議』 学研 <<388ニ>>
 『水木しげる妖怪道五十三次』 水木しげる／著 YMブックス <<388ミ>>
 『生まれたときから「妖怪」だった』 水木しげる／著 講談社 <<726ミ>>
 『姑獲鳥(うぶめ)の夏』 京極夏彦／著 講談社 <<Fキ>>
 『陰陽師』 夢枕 獏／著 文芸春秋 <<Fユ>>
 『ものいふ觸髅』 夢枕 獏／著 集英社 <<Fユ>>



神隠し

そば降る雨の中、目を射る閃光に思わず急ブレーキを踏んだ。社殿の両端に建った御柱が雨に清められ、ひとときわ黄金と紛うばかりに輝いていたのだ。故郷のお宮も今年も御柱大祭だったのだ。杉や樺でおおわれた神社は子供の頃と同じで、大騒ぎして遊んだ当時は懐かしく思い出された。

境内に切り倒された太い樺の丸木が二、三本あった。中は空洞で小学校低学年の子供がちよつと頭を下げると通れる大きさであったから、トンネルと化して格好の遊び場となった。暗くなるのも忘れて、それは大はしやぎで何度か何度もくぐり抜けた。「遅くまで遊んでると神隠しに会うぞ」「人さらいにさらわれるぞ」と早く帰るように常々言い聞かされていたのだが、迎えに来た祖母の声によつと気が付いた。辺りは夕暮れに変わり、黒々と繁茂した大木に押しつぶされそうな威圧感。子供の帰る刻を境に、神は鈍い音をたて、夜のとばりを下ろし始めた。突然、頭上から「子供は早く帰るのだ」と太くどつしりとした威厳のある声が！「神隠し……？」更に、夜毎お宮の方角から「ホッホー、ホッホー」と低音の音が周夜を突くように響き渡り、深い眠りにつくまでの間、子供等を恐怖の世界へといざないやまなかつた。

雨は静かに降っている。車窓からそつと手を合わせ、再び車を走らせた。

(寄稿…チュルル)

南部図書館カレンダー

は休館日です。

開館時間 10:00~18:00

2010	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
7月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

2010	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
8月	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

8月号のテーマ：戦争

9月号のテーマ：温泉

テーマにまつわる思い出やエピソードなどの投稿をお待ちしています。前月15日までに南部図書館窓口までお寄せ下さい。